

泉川校区まちづくり懇談会 開催結果報告書

開催日時	令和元年7月25日(木)	19:00~20:40
場所	泉川公民館	
司会・進行	石川泉川校区まちづくり連合自治会長	
参加者数	男 78人	女 8人 合計 86人



1. 市の重点事業に関する質問

【質疑応答】

(民生委児童員協議会長) 東田団地の建て替えの話があったが、現在住んでいる人たちはどうなるのか。

(市長) 西半分を先に建て替えるので、民間の借家や他の市営住宅に一時的に移転していただき、完成後に希望者は戻ってもらう。

(民生児童委員協議会長) 民生の活動がバラバラになってしまう。どうなるのか。

(市長) 当面、移転先の民生委員にお願いし、戻ってきたらお願いすることになる。

(民生児童委員協議会長) 近年は災害が多く、全市域に避難命令が出ているのを見るが、どこへ逃げるのか。

(市長) そういった報道も見るが、新居浜市では避難勧告を出す地域をある程度決めており、全市を対象とした避難命令は、今のところ想定していない。

2. 校区課題

課題名 国領川河川整備について

【質疑応答】

(川東ブロック長) 河川整備基本方針の現在の進捗状況と今後の見通し、スケジュールを教えてください。あわせて、城下橋から下泉二丁目間の河川に民地のある個所の境界確定はいつになるか。また、河川整備の際には地元要望も聞いてもらえるのか。もしくは、計画策定に加わることができるのか。

(河川水路課長) 県では河川整備基本方針の原案を作成し、国土交通省と協議を進めていると聞いている。ただ、昨今の豪雨災害を踏まえ、今年度から鹿森ダム再生計画に着手する予定で、河川整備基本方針との整合を図る必要があることから、鹿森ダム再生計画の策定を受けて、河川整備基本方針を策定し、その後河川整備計画を策定することになるので、相当の期間が必要になる。城下橋下泉間の境界確定については、河川整備計画の目途が立っていない現時点では未定と聞いている。河川整備計画の策定に当たっては、関係各団体から意見を伺うことになっており、可能な範囲で要望を盛り込みたいとのことだ。

(上泉連合自治会長) 鹿森ダムで異常洪水時防災操作が行われたら、泉川校区でどんな被害が想定されるか。被害が想定される箇所だけでも整備計画とは別に整備できないか。

(市民部長) 鹿森ダムでは、過去7回異常洪水時防災操作が行われている。単純には比較できないが、これまで大きな氾濫はなかった。4月に総合防災マップを配付しているが、想定最大規模の国領川氾濫想定区域を掲載している。県から異常洪水時防災操作の連絡があれば、想定区域には、早めに避難勧告等を発令するので避難をお願いしたい。先ほど全市域に避難指示が出た場合の質問があったが、指定の避難所に全員が避難するというのではなくて、建物の2階に避難するなど、それぞれが命を守る行動をとっていただきたい。

(河川水路課長) 河川の整備は、河川整備計画に基づき整備するため、先行して整備することは困難と聞いているが、堤防の部分的な改修や堆積土砂の撤去については必要に応じて実施していくとのことだ。

(下泉連合自治会長) 下泉二丁目の堤防未整備箇所が地権者と合意に至ったと聞いているが、いつ整備されるのか。今年度以降の堆積土砂の撤去予定は。

(河川水路課長) 今年度設計を行い、予算措置されれば、来年度または再来年度に工事を行う予定と聞いている。市としても早期に着工してもらおうよう要望する。堆積土砂の撤去は、今年度は国領大橋の上下流600m(18,000m³)を実施している。来年度以降は未定である。

(広報部部長) 尻無川や東川の管理はどこか。

(河川水路課長) どちらも2級河川で愛媛県の管理になる。

(広報部部長) 平成16年の豪雨災害では、どちらの川も氾濫した。ゲリラ豪雨が頻発

しているが、何ミリの雨量で避難指示が出るのか。

(市民部長) 雨量だけでなく、国領川、東川では、設定している氾濫危険水位を超えれば避難指示を出す。

(広報部部長) 尻無川の情報がないと、どのタイミングで避難してよいかわからない。何らかの形で情報を提供してほしい。

(市民部長) 総合防災マップに平成16年の豪雨災害の記録を掲載している。また、河川の水位がわかるよう定点カメラを設置しており、気象庁とも綿密な連絡を取って、早めに避難情報を出すようにしたい。

(泉川校区まちづくり連合自治会長)

河川に流木等が流れてきたらどうするのか。

(岡松市民部長)

定点カメラや消防団からの情報で分かったときには、建設業協会と災害協定を結んでおり、重機を出して対応していただく。

(泉川校区まちづくり連合自治会副会長) 下泉の瀬戸下水はけ口の上流部分も堆積土砂があるので、撤去を県に働きかけてほしい。

課題名 駅南地区のまちづくりについて

【質疑応答】

(松木坂井自治会長) 駅南の整備が全く進んでいない。立地適正化計画の中で、都市機能誘導区域としているが、どのようなスケジュールで進めていくのか。

(建設部長) 駅南地区に立地すべき施設等を検討するに当たって市民ニーズを把握するためのアンケート調査を行い、市民の意見を聞きながら、今年度中には、まちづくりの方針を決定する。

(瀬戸寿ブロック長) 市民文化センターは建て替えの時期に来ていると思うが、駅南に建設する考えはあるか。アリーナを建設してはどうか。

(建設部長) 市民文化センターは、建設場所も含めて来年度までに方針決定する。駅南については、アリーナも含め、公共施設の再編等も踏まえ、集客力のある核施設として立地誘導すべき施設等を検討していく。

(岸の上ブロック長) 南北をつなぐ道路の整備について、どのように考えているか。

(建設部長) 道路建設によって、沿線の土地利用、地域が分断されないか、費用対効果等観点から、駅周辺のまちづくりにとって真に必要な道路なのか、慎重に検討していく。

(泉川校区まちづくり連合自治会長) 南北をつなぐ道路は必要だ。以前、3案まで作っておきながら、またアンケート調査を行うのはどういうことか。

(建設部長) 3案を作った際には、地元の人や地権者を中心に意見を聞いたが、今回のアンケートは、市内全体を対象としている。

(広報部部会長) 駅前開発で道路が拡幅されたことにより、第2踏切の部分が渋滞するようになった。区画整理でないと国の補助が降りないのは理解できるが、ここだけでも切り離して整備できないか。

(建設部長) 駅南の方針決定後、整備スケジュールの中で、第2踏切の部分を切り離して整備が必要となれば検討するが、面整備が基本と考えており、まずは、整備スケジュールを決定していきたい。